



7月22日、8月7日 フェンシングの全国大会

笠原佳姫さん、笠原怜姫さん姉妹(田岸)が活躍

笠原佳姫さん(沼田女子高校3年)が、第6回金魚ちょうちんCUP(8月7日、山口県)の女子サーブル・ジュニアの部で見事優勝し、笠原怜姫さん(昭和中学校3年)も第7回全国中学生フェンシング選手権大会(7月22日、東京都)の女子エペの部で第3位入賞を果たし、姉妹で活躍しました。姉の佳姫さんは「優勝できうれしい。大学では全日本学生選手権で上位に入り日本代表を目指します」、妹の怜姫さんは「右足を剥離骨折しながらも結果が出せたことは自信につながった。今後も日本代表メンバーに残れるよう、引き続き頑張っていきたい」と喜びと抱負を語りました。



全国で活躍する姉の佳姫さん(右)と妹の怜姫さん



怜姫さんはエペ第3位



佳姫さんはサーブル優勝



9月15日 奉仕作業

村遺族の会が忠霊塔で草刈り

忠霊塔にまつられている英霊をしのび、遺族の会(山口強会長)の本部役員と役場職員が、草刈りなど清掃を行いました。森下地内にある忠霊塔は「忠義のために生命をささげた者の靈魂をまつる塔」として昭和20年11月8日に建立。当時、植栽されたと推測されるサクラが春にはみごとに花を咲かせます。山口会長は「コロナ禍で、戦後75年の節目の年に追悼式が開催できず残念だったが、戦争の記憶を風化させないため、多くの方に忠霊塔を訪れていただければ」と話していました。



草刈り・清掃作業を行い(右)きれいになった忠霊塔



9月14日 児童・生徒の感染症対策

沼田ロータリークラブがマスクを寄贈

沼田ロータリークラブ(津久井功会長)が村教育委員会を訪れ、不織布マスク約10万枚を寄贈しました。

この日、訪れた同クラブの綿貫利彦さん(鎌沢)は「昨今の新型コロナウイルス感染状況の中でも、特に10歳代以下の感染者数が増えていることに加え、年齢的にワクチン接種ができない子どもたちに使ってほしい」と、堤教育長にマスクを手渡しました。

マスクは小中学生1人につき20枚配布されます。皆様の善意に感謝いたします。



堤教育長にマスクを手渡した綿貫さん(左)と宮田さん(中央)

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題などをダイジェストでお知らせします。



9月17日 敬老祝金配付 いつまでも長生きしてください

村は、村内の80歳以上のお年寄り746人の長寿を祝い、地域の民生委員を通じて敬老祝金を贈りました。

また、9月17日には堤村長らがそれぞれ自宅などを訪問。95歳以上の方67人に、直接敬老祝金を贈呈しました。

10月に96歳を迎えられる吉澤はつえさん(池原)にも、堤村長から「これからもお元気でいてください」と敬老祝金を手渡され、吉澤さんは「ありがとうございます」とお元気に応えていました。



96歳を迎えられる吉澤はつえさん



9月15日 スポーツ推進員表彰 堤とよ子さんに10年表彰

村スポーツ推進委員の堤とよ子さん(森下中)に、群馬県スポーツ推進委員協議会から10年表彰が贈られました。

スポーツ推進委員として長年、地域住民の体育・スポーツ活動の振興に貢献されたことが高く評価された堤さん。「コロナ禍になり、スポーツイベントなどが行えていない現状は大変残念ですが、委員の仲間たちに恵まれ、ともに楽しくやってこられたことがよかった」と話していました。



表彰を受けた堤とよ子さん



8月5日～23日 歩道の除草作業 石坂建設(株)が地域貢献活動

石坂建設株式会社(諸田光二社長)が、糸井地内の歩道で竹や雑草などの除草作業を、地域貢献活動の一環として無償で行いました。

除草作業を行った区間は、県道下久屋渋川線沿いの今成歯科医院付近から糸井河原までの歩道。竹や雑草などが生い茂り、小学生や中学生の通行に支障が出ていました。

諸田社長は「子どもたちが安心して登下校できるようになれば」と話していました。



安全に配慮しながら作業する社員の皆さん



9月22日 役場職員招集訓練 避難所を想定しテント設営訓練

災害発生を想定した役場職員招集訓練が行われました。訓練では、台風直撃による建物損壊や停電、断水などの災害を想定し、役場全職員を明け方に緊急で招集。対応可能な職員は、指定された午前7時20分までに登庁しました。

その後、多目的屋内運動場に移動し、避難所での使用を想定した簡易テントの設営訓練も合わせて行いました。職員は所属課ごとに分かれ、説明書を見ながらテントの組み立てと収納を確認していました。



簡易テントを組み立てる職員